



①



②



③



④

- ①「全日本チンドンコンクール2018」の最優秀賞を受賞
- ② 愉快的「チンドン芸」で会場は笑顔に包まれる
- ③ 迫力のある動きでイベントを盛り上げる「祝い餅つき」
- ④「かわち家」と「銀のさら」のコーラボ湯飲み



山口広助さんと河内さんによる長崎の街歩き番組「ヒロスケの長崎歴史さんぽ」が毎日好評放送中！(長崎ケーブルメディア11ch)

Information



▲河内さんの自伝も絶賛販売中!

株式会社 かわち家
〒851-2106 西彼杵郡時津町左底郷1185-21-101
☎・FAX 095-882-6300
URL: <http://www.kawatiya.jp>
営業 10:00~16:00
休業 土曜・日曜・祝日
※イベント等の開催は休日でも承ります。

「主に、企業・団体のパーティーの余興やお祝いの席などで、好評いただいております。時にはお客様も交え、一緒に餅つきをすることもあります。もちろん、つきたての餅は、会場のみなさんに振舞っていますよ」と笑顔で語る。

広報としてのチンドン
「まずは、チンドン芸による宣伝の知名度を高めていきたいです。そのために、現在は広報活動に力を入れており、宅配寿司『銀のさら』の社長のご厚意により、両社のネーム入り限定湯飲みを作製していただきました。これからも、このような活動を地道に増やしていきたい、チンドン芸

「チンドン」とは、依頼主の店やその地域に人を呼び込み、商品の購入を促したり、街頭でヒラを配ってイベント等の宣伝を行なうもので、愉快なおしゃべりと、チンドン太鼓などの楽器による温かな音色、人目を引く奇抜な衣装などが特徴となっている。
「商店の記念イベントやセールスのPR、地域の祭り、老人ホームでの催しなど様々な場面に呼んでいただいております」と河内さん。
また、もう一つの人気芸事「祝い餅つき」は、賑やかな囃子と威勢の良い掛け声に合わせて、豪快に餅をつき、会場の雰囲気を一気に明るくさせる。

自慢のチンドン芸
「テレビや広告などの宣伝と比べて、道行く人に直接宣伝できるところがチンドンの最大の強みです」と話す河内さん。
「わたしたちがチンドン芸で宣伝した商店の方から、『売り上げが大幅に伸びた』というお声をたくさんいただいています。確かに、広報の規模ではメディアに敵いませんが、商店の皆さんの気持ちに寄り添いながら、近くを通るお客様全員に買物をしていただくという心意気で宣伝させてもらっています」と自信を覗かせる。

をテレビや広告などの媒体と並ぶ広報の選択肢のひとつとして、根付かせたいですね。そして、ゆくゆくは、わたしたちのチンドンで、これまで以上に長崎の街を盛り上げていきたいと思っています」と展望を力強く語ってくれた。
持ち前の賑やかな芸事で様々な催しを盛り上げてくれるチンドン屋。
かわち家さんの手にかかれば、どんなイベントも大盛り上がり間違いなしです。「宣伝をしてほしい」「イベントを盛り上げてほしい」という方はぜひ一度ご相談をしてみてください!

チンドン屋「かわち家」の誕生
「幼い頃から、人に注目されたり、目立ったりすることが好きでした」と河内さん。夢であった小学校教諭の採用試験に落ちた2日後、「チンドン屋」というキーワードが突然頭の中をよぎり、大学を卒業後、福岡県北九州市の一座への入門を決意。チンドン芸の演者としての道を歩み始めた。
その後、自らの手で長崎初のチンドン屋をつくりあげること目標に、東京都の老舗チンドン屋「菊乃家」で、本格的な芸の修業を開始。そして、日本全国のチンドン屋が芸の腕を競い合う「全日本チンドンコンクール」で、親方や仲間達のカもあり、見事最優秀賞を受賞。満を持して長崎へ帰郷し、平成12年に「かわち家」の営業をスタートさせた。
「開業までに、本当にたくさんの方にお世話になりました。自分に芸を仕込んでくださった一座のみなさんはもちろん、自分を支えてくださったすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです」
二 大看板の芸事
河内さんが自信を持って提供する主な芸事は、「チンドン」と「祝い餅つき」。

株式会社 かわち家

代表取締役
かわち 河内 隆太郎 さん



「チンドン」で地元・長崎を笑顔にしたい

どこか懐かしいメロディと楽しげな「口上」で街頭や祝いの場で各種芸事を提供する、長崎で唯一のチンドン屋。今年、「全日本チンドンコンクール」で日本一に輝いた、株式会社 かわち家 代表取締役の河内隆太郎さんをご紹介します。